



**小学校**  
 人や自然や動植物との『対話』を促す校舎を目指しています。  
 敷地東の丘尻に湧き出す水を引き込み、柴山湧へ至るダイナミックなビオトープ。湧と一体となった屋上プール、丘の自然が内部に溶け込んでくる講堂は、敷地の個性を活かしたこの校舎の特徴です。



**博物館**  
 金沢は日本の98%の金箔を生産しています。その金箔を紹介する博物館です。  
 金沢市東山の茶屋街にほど近い、幹線道路に面しています。町並みに調和するよう蔵をモチーフとしました。建築の外内に金箔をちりばめ、建築のアイデンティティを表現しています。



**工場**  
 金沢に本社を置く企業の主力工場です。  
 厚川に面し、また、本社に隣接する敷地であるため、無機質な塊の建築とならないよう心がけました。下部と上層に分け、底や有孔折板で建築に表情をつけています。また、一連の既存工場や事務所群との調和を図っています。



**古民家再生**  
 山あいの荒谷の集落は美しく、懐かしくもあります。その集落の中で、役目を終えた民家の骨組を移築し、住まいの再生を試みました。  
 雪深く厳しい冬の生活の為に薪ストーブを家の中心に置き、上がった暖気と煙突の周囲の暖気を床下に戻し床暖房としています。



**事務所**  
 単純な形態と、質感で企業イメージを表現しました。  
 町工場と住宅が混在する地域で、近隣の住環境に配慮し、建物位置を決めています。また、大通りからは認識性の高さから、街のランドマークとなっています。

**事務所+中庭（庭デザイン 鈎隆弘）**  
 有機的な躍動感ある中庭を中心に、低層の事務室を配置しています。  
 住宅のスケール感と珪藻土、石、コンクリートの材料を使用しながら、柔らかに包み込まれるような空間を目指しました。



**事務所併用住宅**  
 市内商住混在する街並みとの関わり方を模索しました。  
 隣地住宅の採光、通風、プライバシーを確保するよう本住宅の配置を決め、隣地側全面に有孔折板を採用しています。西、南面についても同様に街との関わりを折板のスクリーンで調整しています。



**大学研究所+中庭（庭デザイン 鈎隆弘）**  
 日々、研究に動しむ方々に機能と性能を満たした環境を提供しました。  
 研究の合間にほっとする中庭を中心に、研究室を配置しています。庭は生物資源研究所のテーマでもある、『遺伝子』を表現しています。